

## チーム医療の具体的実践事例

提出委員名 遠藤 康弘 委員

チーム（取組）の名称	チーム医療の一員としての医師事務作業補助者（医療クラーク）の活用
チームを形成する目的	煩雑な事務作業が勤務医の疲弊を増幅し、地域における勤務医の立ち去りの要因の一つと考えられている状況を打開するため、医師事務作業補助者（医療クラーク）を導入し、その効果を検証した
チームによって得られる効果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 勤務医の煩雑な事務作業をサポートしその負担を軽減することで、時間外労働や休日労働を削減し、勤務医の疲弊感を取り除く効果がある。</li> <li>2. 診断書など書類作成時間が短縮され、患者サービスにもつながる。</li> <li>3. 医師本来の診療業務に専念でき、医師の生産性や医療の質の向上につながる可能性。</li> </ol>
関係する職種とチームにおける役割・仕事内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 主として関係する職種は医師であるが、従来看護師になっていた医師の事務的サポートも、医療クラークの業務にとってかわったため、間接的ではあるが看護師の業務負担にもつながり、看護師本来の患者ケアに対応できる効果も期待できる</li> <li>2. 配置： 外来診療補助（内科、小児科、泌尿器科、外科、放射線科等）、 文書補助、医局、手術室、麻酔科</li> <li>3. 仕事内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院・退院書類作成：入院・退院治療計画</li> <li>・検査、入院説明：大腸内視鏡検査説明、心臓カテテル・パス、ペースメーカー・パス、TBLB入院予約、SAS 画以来準備</li> <li>・逆紹介などの紹介状の作成：紹介・逆紹介状作成・説明</li> <li>・オーダーリグ 代行入力</li> <li>・手術関係準備（外科系）：手術カンファ準備、手術台帳入力、合併症台帳入力、手術日調整、手術申込、承諾書、麻酔科診察（術前）</li> <li>・文書作成補助：各種保険入院証明書、介護保険意見書、傷病手当金、生活保護等の記入カルテサマリ作成補助</li> <li>・放射線科（読影室）：レポート作成補助</li> <li>・学会資料準備、がん登録作業など</li> </ul> </li> </ol>
チームの運営に関する事項	<p>人材育成・教育体制</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 座学講習の 32 時間については、日本病院会主催の“医師事務補助者コース”を受講。</li> <li>② 院内における教育は、OJTによる教育を中心にそのた作成したプログラムを併用し、可能な範囲において実施している。</li> </ol> <p>医師と他職種あるいは医師と患者・家族をつなぐ、重要なパイプ役としても活躍</p>
具体的に取り組んでいる医療機関等	埼玉県済生会栗橋病院